

地方会・研究会記録

第 58 回労働衛生史研究会*

1. 八幡製鉄所の労働衛生—労働医学研究課の業績を中心に—

酒井 淳 (元 八幡製鉄所病院労働医学研究課長)

八幡製鉄所病院は明治 33 年 (1900 年) に設立され、昭和 2 年には衛生課を併設し、臨床部門と有機的な繋がりをもって、産業衛生や疾病予防に関する研究や作業環境改善などの問題解決にあたり、黒田、川畑の「ガス発生炉工の職業性肺がんについて」等の優れた研究成果もあげている。昭和 25 年、民営八幡製鉄株式会社発足に伴い、労働医学研究課が設立された。平成 13 年に刊行された八幡製鉄所 100 周年記念史の中に「労働医学研究課が果たした役割」の項目があり、鉄鋼企業内唯一の調査研究部門として、広く製鉄作業従事者の労働条件や労働環境に関する労働生理および労働心理的調査・研究を推進し、衛生管理活動に寄与したのみならず、職務給与制度や工場要員設定基準のためのデータを提供し、給与制度の運営や要員管理にも大きく寄与したと、その業績を高く評価している。昭和 25 年から 48 年までの 23 年間にわたる労働医学研究課の組織、人事および元田紀雄、河合正武、酒井 淳ら歴代課長時代の主要業績について報告する。

2. ブラジル・ウジミナス製鉄所の保健衛生

白根友吉^{1,2}

(¹元 ウジミナス製鉄所調整部派遣人事課世話掛長,
²八幡製鉄所病院内科)

ウジミナス製鉄所はブラジル第 23 代大統領クビチェックにより建設された。1956 年 4 月大統領よりミナス州での製鉄所建設に協力を依頼された日本は、湯川八幡製鉄所技師長を最高顧問としてこれに応えた。保健衛生関係では、製鉄所組織の中に庶務部医療課があり、関連施設の日本人診療所、歯科診療所、構内救急診療所、イパチング地区診療所等と連携して労働衛生業務を担当した。日本からの派遣医師は調整部派遣人事課世話掛長として、日本人診療所での診療、健康教育、健康診断等に従事した。1962 年 4 月より 1965 年 2 月までの 3 年間世話掛長として勤務した経験と、ブラジルの医療事情、患者発生状況などについて報告する。

*2009 年 5 月 20 日 (水)

会 場：福岡国際会議場

代表世話人：堀口俊一 (大阪産業保健推進センター)

第 58 回世話人：酒井 淳 (福岡産業保健推進センター)

鼎談 三井鉱山の安全衛生

矢田政之^{1,2}, 高田和美^{1,3}

(¹元 三井鉱山勤務,

²現 田川市石炭歴史博物館「炭鉱の語り部」,

³現 日本予防医学協会会長)

矢田は三井鉱山田川で坑内充填夫として働いた。「援け合い」が自分の身を守る絶対条件であった。援け合いは職場だけでなく、生活の全ての面で独特の気風として炭鉱社会の根底にあった。坑内での仲間との語合い、死亡事故のときの儀式、無事昇坑できたときの喜び、安全週間での婦人会の出迎え、長屋での集会など、生涯忘れられない人生であった。高田は三井産業医学研究所、三井鉱山 (九州、北海道) で 8 年間産業医として働いた。じん肺や赤痢の予防、坑内職場巡視、炭住での健康相談等の業務をとおして「援け合い」の言葉と行動に魅せられ、労働者にさまざまなことを教わった。後に三井石油化学の産業医として、挨拶でつくる心の健康、浴場での背中での流し合いなどの活動を行うことができたのは、鉱山での経験が役に立っていると思う。

第 31 回労働者体力問題研究会**

<特別講演>

1. 企業現場で行う特定保健指導について

—SUMCO 佐賀・伊万里の取り組み—

今までの運動習慣確立の取り組みを生かそう

彌富美奈子 (株式会社 SUMCO)

特定保健指導は高齢者医療確保法により保険者に実施責任があるが、事業者及び事業者の産業保健スタッフに委託される可能性がある。産業保健スタッフが特定保健指導を行うメリットとしては、1) 指導実績を生かし、今までの THP・保健指導の中で有効と思われた取り組みを応用できる、2) 特定保健指導も事業場の支援や資源を有効活用できることがあげられる。当事業所でも今まで運動習慣確立のためにウォーキング企画や THP の一貫として 35 歳社員対象に健康測定とそれに引き続く 3 ヶ月間の指導実績があり、それらを元に特定保健指導での運動指導を計画した。特定保健指導対象者が介入直後だけでなく長期間でも行動が持続でき、リバウンドしないためのフォローアップの工夫、行動ステージを考慮した対象者選定の優先順位などの保健指導の効率化、対象者に事業所でのウォーキング企画への参加を勧めるなどの population strategy との組み合わせ、さらに達成者へのインセンティブや協力職場へのインセンティブ

**2009 年 5 月 21 日 (木) 12:00-13:00

会 場：福岡国際会議場 J 会場 (会議室 402)

世話人：澤田 亨 (東京ガス株式会社)

(職場への安全衛生表彰への加点の変更(特定保健指導の参加率・対象者の減少率))等を工夫している。また特定保健指導希望者に β 2AR(アドレナリン受容体), β 3ARの儉約遺伝子やACEなど血圧に関わる遺伝子多型を測定し, 個人に即した運動の種類や方法などオーダーメイドの保健指導を実施する新しい試みを行っている。

2. 糖尿病予防に運動が効く理由(わけ)

桧垣靖樹(福岡大学スポーツ科学部)

平成19年国民健康・栄養調査によれば, 糖尿病が強く疑われる人及び可能性を否定できない人を合わせて約2,210万人と推定されている。厚生労働省が示す「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ」という標語には運動への期待がこめられている。2型糖尿病患者の糖処理能力の低下は, 主に骨格筋の機能低下に起因する。骨格筋は, インスリン作用に応じた糖処理機能とインスリン作用を介さない糖処理機能の2つのシステムにより血糖調節の一役を担う。食後, 血中グルコース濃度に応じたインスリン分泌が起こり, インスリンの標的組織, とりわけ骨格筋での糖取り込みは増加する。また,

骨格筋はインスリンとは独立したメカニズムで糖を取り込むため, 両者の能力を高めることができれば, 食後の血糖上昇をいち早く下げることができる。これらの機能に優れた者の膵 β 細胞は次の食事までの間, 休息することができるため, 膵 β 細胞が疲弊することはない。運動はインスリンの効きを良くし, また同時にインスリンに頼らず血糖を筋肉に運び入れるスイッチをオンにする。その立役者の一人はAMPキナーゼである。この酵素の運動刺激による活性化は, 2型糖尿病患者においても健常者と同程度であることが報告されている。すなわち, インスリンの効きが低下した糖尿病患者に対して運動療法の有効性を示す一つの根拠である。近年, 2型糖尿病患者に30分の運動を10分 \times 3に分けて午前, 午後, 夕方と実施した場合, 耐糖能の改善に有効であることが報告され, いつでも気軽にできるウォーキングや会社内で仕事の合間にできる“すきまエクササイズ”が功を奏するかもしれない。ひと昔の生活を振り返ると人間は食事をとるために動いていた。食事の支度に身体を動かすことがなくなった今, 意識的にからだを動かす時間を設け, 日常生活化させる術を養う必要があるだろう。

第20回 韓日中産業保健学術集談会 Korea Japan China Joint Conference on Occupational Health

※本年6月3日～5日に開催予定であった本学会は、新型インフルエンザ流行の影響により、下記のとおり延期して開催されることになりました。

会 期：2009年8月27日（木）～29日（土）

会 場：Hotel Capital（韓国ソウル市）

メインテーマ：「東アジアおよび全ての働く人の健康増進
— Health Promotion for East Asian
Workers and All—」

シンポジウム：「産業ストレス—Occupational Stress—」

ワークショップ：「健康増進—Health Promotion—」

抄録締切日：2009年7月23日午前 下記事務局必着

参加登録締切日：2009年7月30日

参加登録費：一般US\$200 学生US\$100 同伴US\$80

学会長：Byung Soo CHOI（大韓産業保健協会会長）

日本側代表：大久保利晃（（財）放射線影響研究所理事長 /
元・産業医科大学学長）

事務局長：東 敏昭

（産業医科大学産業生態科学研究所所長）

申込先：産業医科大学産業生態科学研究所

作業病態学研究室

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL: 093-691-7470 FAX: 093-601-2667

E-mail: kjcjc@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

URL: <http://wshiivx.med.uoeh-u.ac.jp/kjc/index.html>

第17回日本産業ストレス学会

会 期：2009年11月27日（金）～28日（土），（29日（日）：
研修会）

会 場：明治安田生命ホール（福岡県福岡市博多区）

大会長：堤 明純（産業医科大学産業医実務研修センター
教授）

テーマ：「実効性のあるストレス対策を目指して」
～エビデンスに基づく新戦略～

特別講演：「森林セラピーへの展望と期待」

今井通子氏（医師・登山家）

シンポジウムⅠ：「産業看護職によるストレス対策の新展開」

シンポジウムⅡ：「ストレス対策を目的とした職場環境等
へのアプローチのコツ」

一般演題募集期間：

平成21年8月1日（土）～9月30日（水）

日医認定産業医研修 基礎研修（後期）または 生涯研修
（専門）計7単位取得予定

産業看護職継続教育（実力アップコース）単位取得予定

問合せ先：第17回日本産業ストレス学会事務局

事務局長 丸山 崇

産業医科大学産業医実務研修センター

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL 093-603-1611 / FAX 093-603-2155

E-mail: stress@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

HP: [http://ohtc.med.uoeh-u.ac.jp/ENV/](http://ohtc.med.uoeh-u.ac.jp/ENV/nihonsangyousutoresugakkai.html/)

[nihonsangyousutoresugakkai.html/](http://ohtc.med.uoeh-u.ac.jp/ENV/nihonsangyousutoresugakkai.html/)